

3 費目別指数の動き

費目別に前年からの動きをみると次のとおりである。

食 料

令和元年平均は103.9となり、平成30年平均に比べ(+)0.1%の上昇となった。

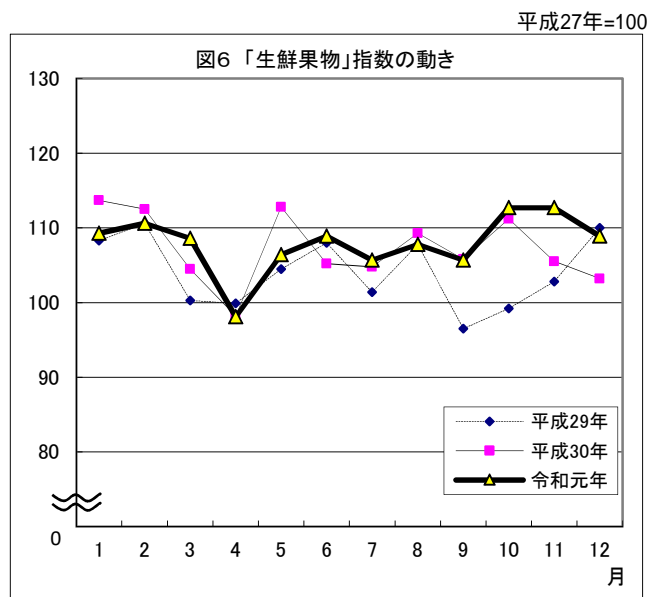
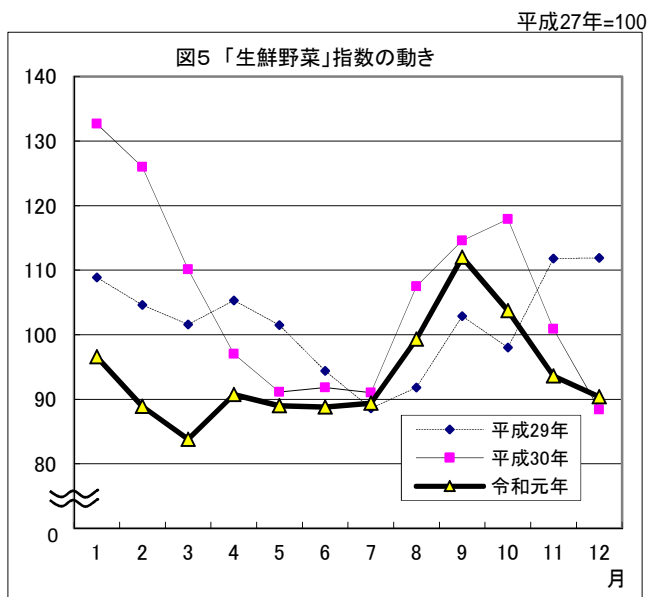
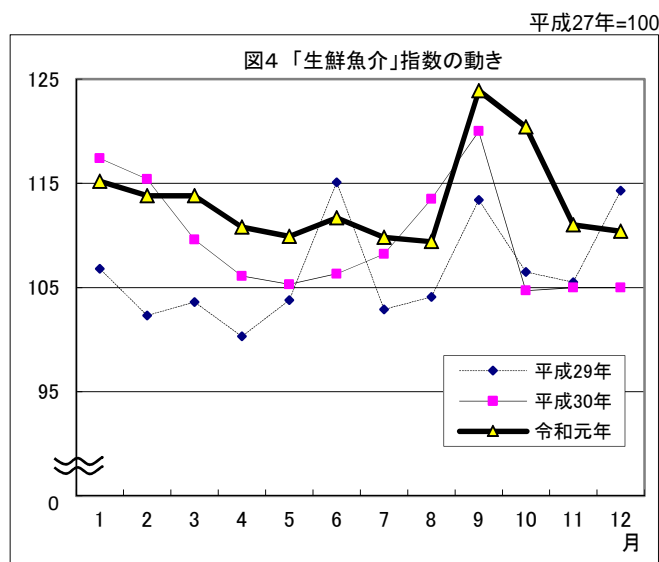
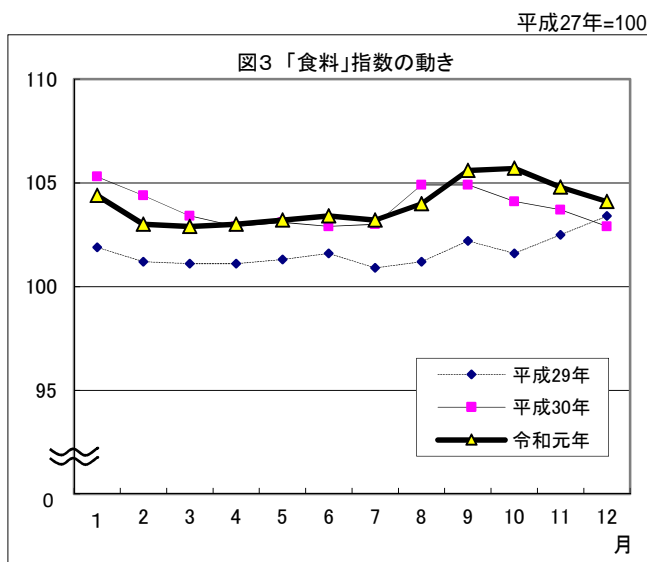
内訳をみると、酒類は変わらず。

菓子類(+)3.2%、魚介類(+)3.1%、外食(+)1.9%、乳卵類(+)1.7%、果物(+)1.2%
穀類(+)1.0%とそれぞれ上昇した。

一方、野菜・海藻(-)5.7%、油脂・調味料(-)2.3%、肉類(-)1.8%、調理食品(-)0.4%、
飲料(-)0.2%とそれぞれ下落した。

生鮮食品についてみると、生鮮野菜(-)11.3%、生鮮果物(+)0.7%、生鮮魚介(+)3.3%とな
り、生鮮食品全体では(-)3.7%の下落となった。

なお、月々の動きはグラフのとおり。(以下同じ)

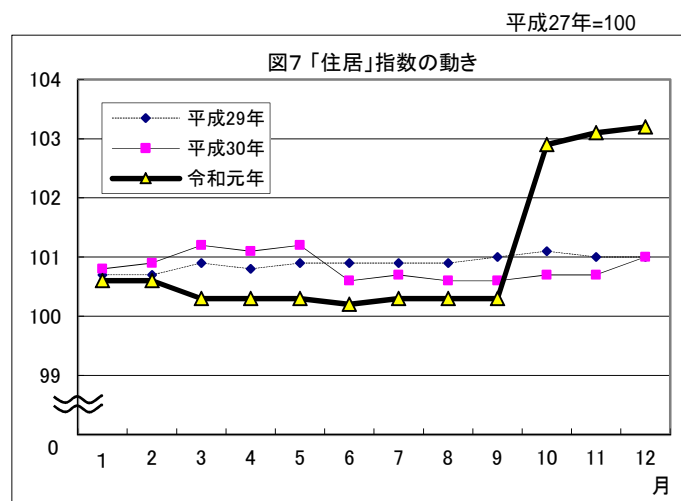


住 居

令和元年平均は101.0となり、平成30年平均に比べ(+) 0.2% の上昇となった。

内訳をみると、設備修繕・維持は(+) 5.2% の上昇となった。

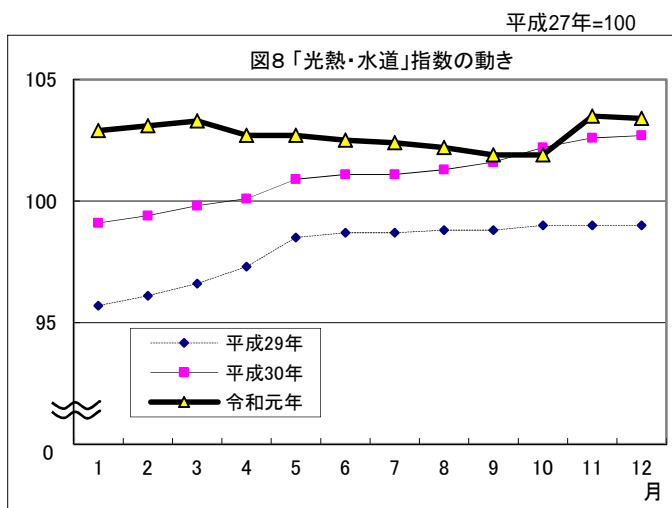
一方、家賃は(-) 0.9% の下落となった。



光熱・水道

令和元年平均は102.7となり、平成30年平均に比べ(+) 1.7% の上昇となった。

内訳をみると、電気代は(+) 2.7% 、他の光熱は(+) 1.5% 、ガス代は(+) 1.1% 、上下水道料は(+) 0.3% の上昇となった。

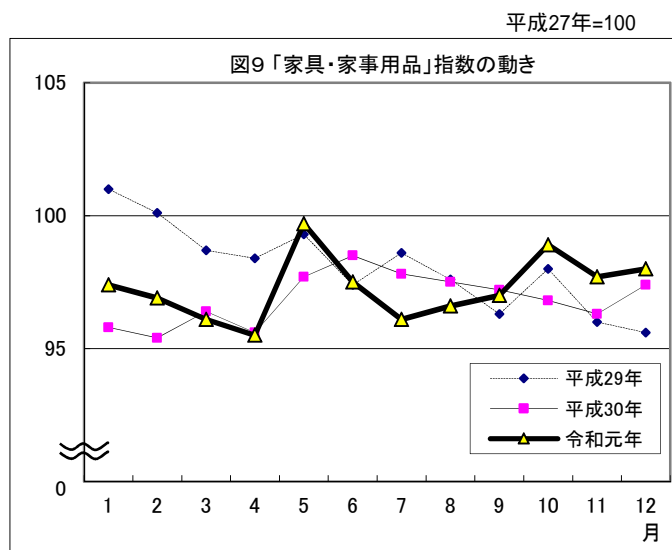


家具・家事用品

令和元年平均は97.3となり、平成30年平均に比べ(+) 0.4% の上昇となった。

内訳をみると、寝具類は(+) 5.4% 、家庭用耐久財は(+) 3.2% 、家事サービスは(+) 0.5% の上昇となった。

一方、家事雑貨は(-) 1.9% 、室内装備品は(-) 1.8% 、家事用消耗品は(-) 1.8% の下落となった。



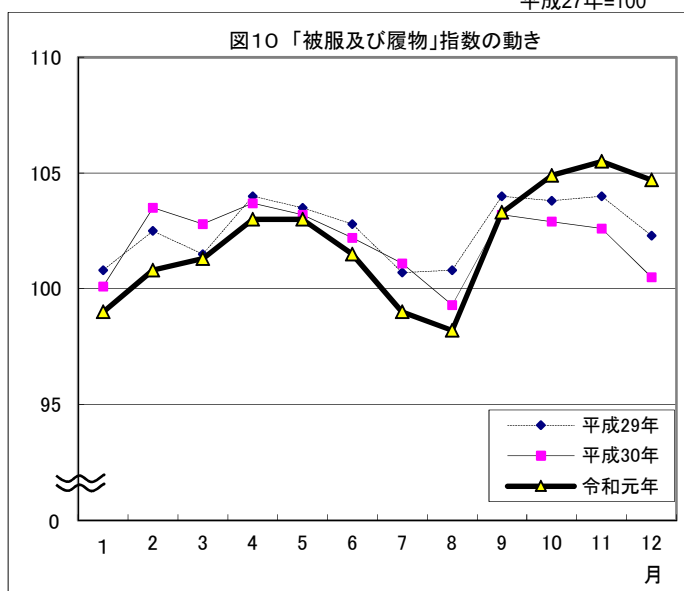
平成27年=100

被服及び履物

令和元年平均は102.0となり、平成30年平均に比べ(-)0.1%の下落となった。

内訳をみると、下着類は(-)2.2%、履物類は(-)1.8%、シャツ・セーター類は(-)1.3%の下落となった。

一方、和服は(+)2.5%、他の被服は(+)1.5%、洋服は(+)1.2%、衣料は(+)1.2%、被服関連サービスは(+)0.8%の上昇となった。



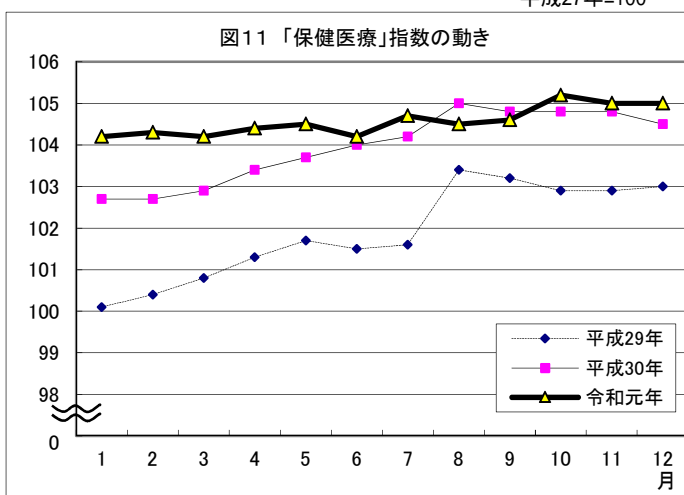
平成27年=100

保健医療

令和元年平均は104.6となり、平成30年平均に比べ(+)0.6%の上昇となった。

内訳をみると、保健医療サービスは(+)1.0%、医薬品・健康保持用摂取品は(+)0.2%の上昇となった。

一方、保健医療用品・器具は(-)0.2%の下落となった。



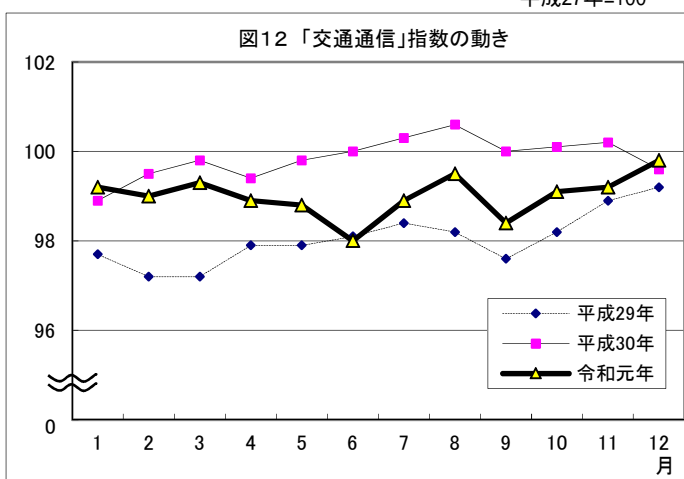
平成27年=100

交通・通信

令和元年平均は99.0となり、平成30年平均に比べ(-)0.9%の下落となった。

内訳をみると、通信は(-)3.3%の下落となった。

一方、交通は(+)0.7%、自動車等関係費は(+)0.1の上昇となった。

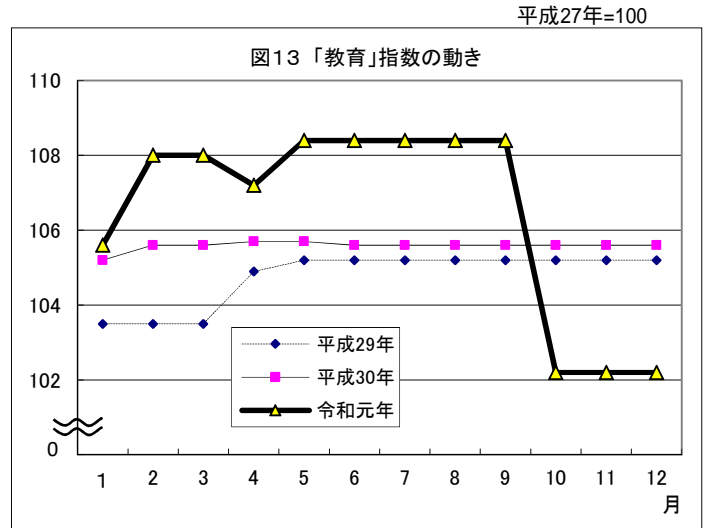


教 育

令和元年平均は106.5となり、平成30年平均に比べ(+) 0.8% の上昇となった。

内訳をみると、補習教育は(+) 5.7% 、教科書・学習参考教材は(+) 0.3% の上昇となった。

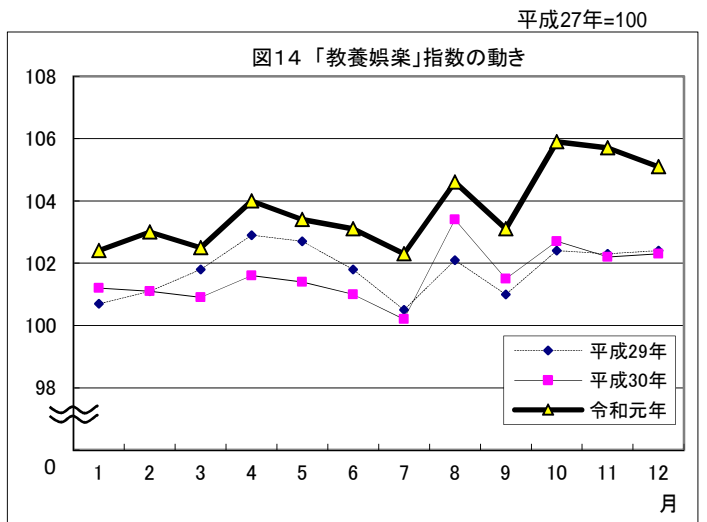
一方、授業料等は(-) 2.6% の下落となった。



教 養 娯 楽

令和元年平均は103.8となり、平成30年平均に比べ(+) 2.1% の上昇となった。

内訳をみると、書籍・他の印刷物は(+) 4.5% 、教養娯楽用品は(+) 3.2% 、教養娯楽用耐久財は(+) 2.3% 、教養娯楽サービスは(+) 1.0% の上昇となった。



諸 雑 費

令和元年平均は101.2となり、平成30年平均に比べ(-) 0.1% の下落となった。

内訳をみると、他の諸雑費は(-) 3.4% の下落となった。

一方、たばこは(+) 6.4% 、身の回り用品は(+) 2.5% 、理美容用品は(+) 0.7% 、理美容サービスは(+) 0.6% の上昇となった。

